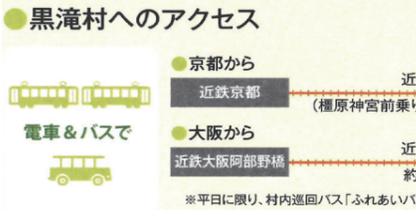




ご意見募集中
本誌では、取り上げてほしい内容や取材依頼、企画など幅広く募集しております。また本誌の購読をご希望の方にはお送りさせていただきます。詳しくは地域おこし協力隊白石まで。
お問い合わせ
kurotakimuralover@yahoo.co.jp

奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞
黒滝村 Lover vol.9
平成29年11月1日発行
企画 黒滝村役場企画政策課
制作・編集 奈良県吉野郡黒滝村
白石隊員(観光PR担当) 大字寺戸77番地
マンガ Tel 0747-62-2031
作:シライシ画:マルモリ Fax 0747-62-2569



★黒滝村News★ **「協力隊米」の稲刈りを終わりました!**
今春から遊休農地の解消を目的に協力隊・支援員の有志により黒滝村堂原地区の田んぼ(約2反)を耕し、**9月に稲刈り**を終えました。たくさんの方から助言やお手伝いいただき、隊員一同感謝しきりです。この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。収穫した米は村のイベントなどでも有効活用する予定です。
「協力隊米」を宜しくお願いします!

☆村外の話でご紹介☆
【吉野の入口】「道の駅 吉野路大淀iセンター」を訪ねました。

なかがわまさみ
駅長 仲川雅己さん
1965年8月2日大淀町生まれ。製薬会社勤務等を経て2001年大淀道の駅の開業当初から勤務。2014年から四代目駅長に就任されました。

情報コーナーには本誌の最新号など黒滝のパンフも設置されており、当村における大事なPRの場でもあります。
大淀名産の番茶をたっぷり練りこんだ「番茶ソフト」350円。季節限定メニューの「柿ケーキ」450円など吉野グルメが盛り沢山!!

目玉商品の手作りパンは、毎日焼きたてを揃えています。
各種 100~150円

◇大阪から約60分。過疎化が深刻な吉野郡におけるベッドタウンとして**人口増加傾向にある大淀町**。
「吉野路大淀iセンター」は吉野の入口でPRできる強みを活かし地域活性化に貢献することを目的に2001年開業しました。出荷者30人弱からスタートした取扱い商品も4倍以上に拡大し年間集客数は**27万人以上**にまで成長しました。

◇敷地内には**大淀名産の梨のほか柿の葉寿司**や新鮮な野菜や果物、焼きたてパンなど多数の商品がずらりと並び、館内の「レストランときん」では**串こんにゃく**など吉野郡ならではのメニューを取り揃えています。

◇今年4月にはイートインコーナーをリニューアルし、8月には黒滝村を含む他村の道の駅と合同で道の駅フェアを開催されました。吉野の奥地にまで観光客に遊びに行ってもらえるよう、日ごとに進化する「吉野路大淀iセンター」

2018年4月には新たな直売所をリニューアルオープン予定です!!
はこみちから
〒638-0801 奈良県吉野郡大淀町戸原536-1
Tel 0747-54-5361
休業日:火曜日(祝日の場合は翌日)
駐車場:普通車80台 大型車10台 障害者用2台

「道の駅」吉野路大淀iセンター

◆隊員のつぶやき◆

- 農業担当 (集落支援員) 樋口支援員**
五月に植えた苗が大きくなり協力隊のみんなで稲刈りできて、本当に嬉しいです!
- 観光施設担当 藤田隊員**
季節はすっかり秋ですが、みなさんは何の秋ですか?僕はスポーツの秋です!
- 食の6次産業化プロジェクト担当 勝原隊員**
10月1日で協力隊就任一周年を迎えました。皆様のおかげさまで、日々成長しております。...体重も...汗!
- 林業振興担当 住吉隊員**
9月3日のたまるまつりイベントで「カホン作り体験」に参加しました!さすが黒滝の杉板!とこもい音がする打楽器に仕上がりました!
- 林業振興担当 久喜隊員**
本日に色々な方に協力隊の手助けをいただき、お米収穫できました。ありがとうございます!
- 林業振興担当 辻本隊員**
初米作り!新米を食べられるのが待ち遠しいです!山でもいろいろなキノコが見られるようになり

※画像提供 岡村印刷工業株式会社

こちらのQRコードから投票できます!

ゆるキャラグランプリ2017
くろたんがエントリー中!!



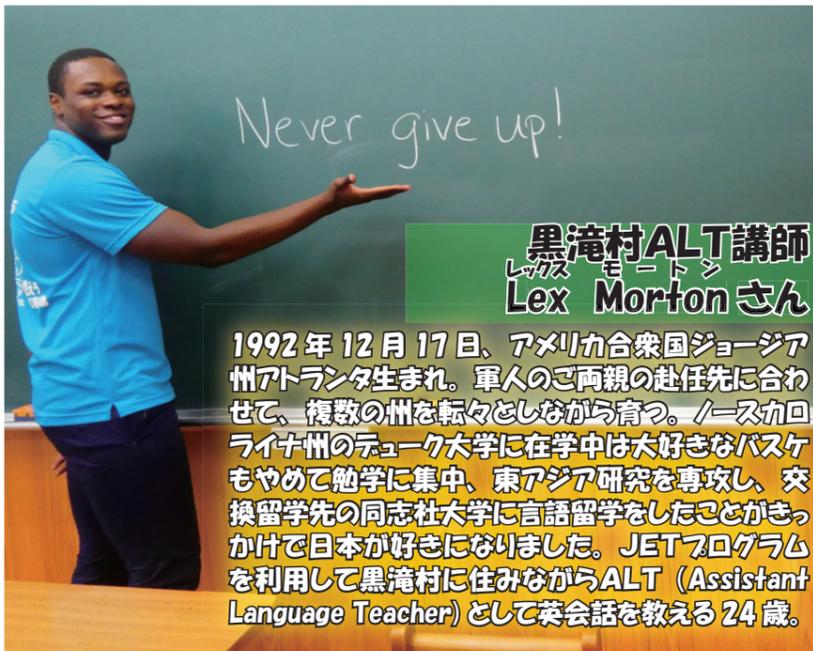
奈良県黒滝村地域おこし協力隊新聞
くろ た き む ら
黒滝村 Lover Vol.9



● Cover Place
黒滝村大字赤滝「善龍寺」



Come visit Kurotaki Village!
A secret spot in Nara!



黒滝村ALT講師 Lex Mortonさん

1992年12月17日、アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ生まれ。軍人のご両親の赴任先に合わせて、複数の州を転々としながら育つ。ノースカロライナ州のテューク大学に在学中は大好きなバスケットもやめて勉学に集中、東アジア研究を専攻し、交換留学先の同志社大学に言語留学をしたことがきっかけで日本が好きになりました。JETプログラムを利用して黒滝村に住みながらALT (Assistant Language Teacher) として英会話を教える24歳。

◇日本語を学びたい◇

●こども園・小中学校・公民館英会話教室で英会話を教えるネイティブスピーカーのレックスさん。学生時代は東アジア研究を専攻、日本各地や中国に留学し、文化や言語を学びました。そして出身地であるアメリカ南部と似た空気を感じたという関西で特に仕事をしたいと考えるようになり、ALT講師を派遣する「JETプログラム」※外国語教育の為の外国青年招致事業※を利用して黒滝村での赴任が決まりました。

●当然、黒滝村という名前すら知らない状態で赴任しましたが、軍人であるご両親の仕事に合わせて転校を繰り返す環境でたくましく育ったレックスさんには、未知の環境でも適応できるという自信がありました。気さくで社交的な明るさだけでなく、謙虚で誠実な人柄は、控え目な性格の黒滝村民にとっても親しみやすく、すぐに愛される存在となりました。

●新しいことへの挑戦が好きレックスさんが好きな漢字は「新」の字。黒滝で暮らす今が、「人生でいちばん大切な経験をしている」と語るレックスさんは、今ほどにか日本にもっと住んでみたいと思っています。ALT講師での滞在期間は3年。日本の魅力を「新たに」発掘してくれるだろうレックスさんの今後の活躍に期待大です！！

◇レックス流・語学上達法◇
●好きなアニメや音楽から掘り下げて勉強し、後はとにかく英語でコミュニケーション



●大学ではボランティア団体の会長として様々な社会貢献活動を行いました。写真上は団体の学術会議で司会を務めた時の仲間との記念写真。



●大学の卒業式では欧米伝統のアカデミックドレスを着用しました。(写真下)有名な角帽は四つ角がそれぞれ医学・法学・工学・神学の基本的学問を表していると言われています。



毎週水曜日は黒滝村公民館で村民を対象とした英会話教室を開講されており、無料でネイティブな英会話に触れることができます。生涯教育に力を注ぐ黒滝村では他にもたくさんの無料の文化教室が開講されます。



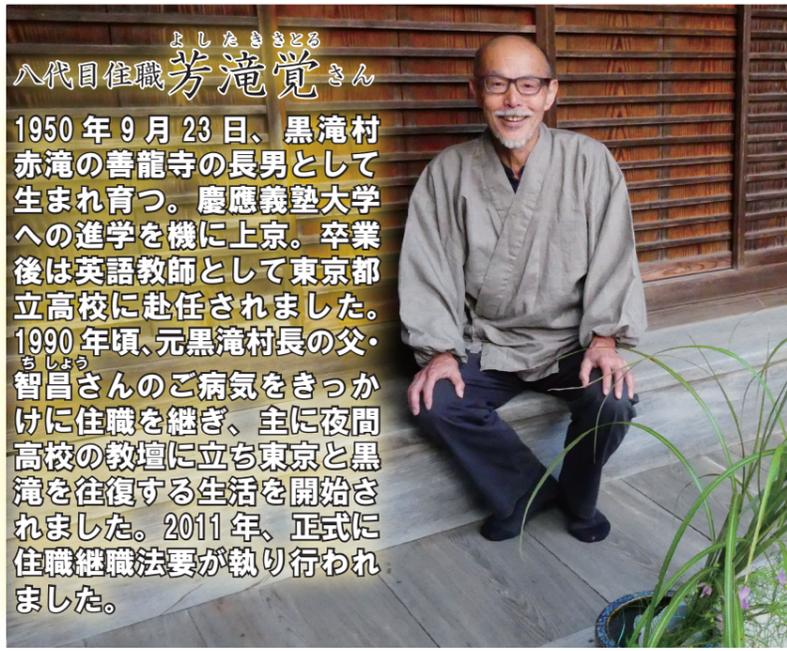
週に一度は、こども園(幼稚園)でも英会話授業を行います。レックスさんは子供達からも大人気です！！



小・中学校では英語教諭の谷口先生の補佐を行い授業を進行します。



黒滝村では、学童保育、一時預かり、児童手当、給食費全額補助、住宅ローンの引き下げなど、子育て世帯へのさまざまな支援を実施しています。
詳しくは右記のQRコードから役場のホームページをご覧ください→ 黒滝村ホームページ



八代目住職 芳滝 覚さん

1950年9月23日、黒滝村赤滝の善龍寺の長男として生まれ育つ。慶應義塾大学への進学を機に上京。卒業後は英語教師として東京都立高校に赴任されました。1990年頃、元黒滝村長の父・智昌さんのご病気をきっかけに住職を継ぎ、主に夜間高校の教壇に立ち東京と黒滝を往復する生活を開始されました。2011年、正式に住職継職法要が執り行われました。

◇黒滝の最奥地で◇

●奈良の秘境・奥大和に位置する黒滝村。その中でも最奥に位置する赤滝地区は文化伝統が根強く残り、今は閉鎖された鍾乳洞も残る、秘境中の秘境といえます。「善龍寺」の歴史は大変古く、真言宗として開山(年代不明)後、室町時代に浄土真宗に転宗、その後大正9年に現在地に移築されました。境内の庭は江戸時代の代表的庭園形式である池泉回遊式庭園と呼ばれる様式で作庭されており、境内の石垣はすべて石積み職人集団として名高い穴太衆が手がけた本格的な築城石積となっています。

●善龍寺は門徒をはじめとする地区住民のみならず、大切に守られ続けてきました。村が賑わっていた頃は遠方から客僧がたびたび来られ、なかでも年に一度の「報恩講」では特別なお齋=法要の際の食事=を赤滝中の女性達が腕をふるって料理されました。

◇過疎問題に秘策が!?!◇
●過疎化の波が押し寄せ、お寺の維持管理は人的にも

経済的にも大変厳しい状況となっています。現住職の覚さんは現状を打破し、善龍寺の建物と地域の風習を現代に蘇らせるためのアイデアとして、年に数回の「お寺ステイ構想」を着想しました。持ち前の英語力を武器に、外国人観光客向けの体験型宿泊施設とお寺を活用し、村内施設との連携はもちろん、近隣の洞川や吉野などでの観光体験、花と音楽を基調としたお寺の体験等を提案するものです。実現のためにはいつも支えてくださる門徒さんや地域住民の方の理解をもちろんでなければなりません。黒滝の文化遺産で、黒滝でしかできない贅沢なDeepYoshino 体験の構想に夢が広がります。



庫裏の一階は村民さんが自由にくつろげるオープンスペースとして今夏から開放中です!! 空いている時はいつでもお立ち寄りください!!



善龍寺

どこを撮っても画になる善龍寺。見る者を圧倒する奥行きのある庫裡の季節ごとのしつらえは、母・好子さんのこだわりだったとか。



年に五回の法事の前には門徒さんを中心とした地区住民のみなさんが集まり、本堂、庫裡、境内などの清掃や法事の準備などを行っています。



奈良県吉野郡黒滝村赤滝 280
Tel 080-5413-8164 Eメール lotus006@infoseek.jp